



## 以前のバージョン Virtual Desktop Service

NetApp  
April 12, 2022

This PDF was generated from [https://docs.netapp.com/ja-jp/virtual-desktop-service/Reference.Release\\_Notes.vds\\_v5.3\\_release\\_notes.html](https://docs.netapp.com/ja-jp/virtual-desktop-service/Reference.Release_Notes.vds_v5.3_release_notes.html) on April 12, 2022. Always check [docs.netapp.com](https://docs.netapp.com) for the latest.

# 目次

以前のバージョン.....	1
Virtual Desktop Service –バージョン 5.3.....	1
Cloud Workspace Management Suite –バージョン 5.2.....	22
Cloud Workspace Suite –バージョン 5.1.....	35
CWS – v5.0 リリースノート .....	44

# 以前のバージョン

## Virtual Desktop Service –バージョン 5.3



v5.3 of VDS については、今後のリリースで繰り返し発生することはありません。すべてのリリースがホットフィックスとみなされます。

### VDS 5.3 リリース：Thurs.、2020 年 12 月 17 日

\_Components : \_5.3 Virtual Desktop Service \_When : \_ Thursday December 17,2022:00 ~ 23:00 Eastern \_  
Impact : \_ エンドユーザのデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。  
仮想デスクトップサービスへのアクセスは引き続き可能です。



次のリリースサイクルは、2021 年 1 月 7 日（木）に、2020 年大晦日の代わりに開始されます。

#### Virtual Desktop Service の略

- Postmark を利用するように SMTP サービスを更新します

### VDS 5.3 リリース：Thurs.、2020 年 10 月 22 日

\_コンポーネント：\_5.3 仮想デスクトップサービス \_日付：2020 年 10 月 22 日午後 10 時 ~ 午後 11 時（  
Eastern \_Impact）：\_ エンドユーザ向けのデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中  
断されません。仮想デスクトップサービスへのアクセスは引き続き可能です。

#### VDS

- MFA エージェントが従来の IIT 命名規則を使用するフォルダに存在するシナリオに対するバグ修正

### VDS 5.3 リリース：Thurs.、2020 年 10 月 8 日

\_コンポーネント：\_5.4 仮想デスクトップサービス \_日付：2020 年 10 月 8 日午後 10 時 ~ 午後 11 時（  
Eastern \_Impact）：\_ エンドユーザ向けのデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中  
断されません。仮想デスクトップサービスへのアクセスは引き続き可能です。

#### VDS

- Provisioning Collections のバグ修正-ハイパーバイザーテンプレートが自動選択されていません

### VDS 5.3 リリース：Thurs.、2020 年 9 月 10 日

\_コンポーネント：\_5.3 仮想デスクトップサービス \_日付：2020 年 9 月 10 日午後 10 時から午後 11 時に  
終了：\_ エンドユーザのデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。仮  
想デスクトップサービスへのアクセスは引き続き可能です。

## Virtual Desktop Service の略

- Azure テンプレートのリストを返すために使用する API 呼び出しの数を減らしてください
- サーバリソースの参照リンクの更新 (夜間レポート)
- AD で強化されたスリムな権限セットをサポートするように管理パスワードを変更する修正

## VDS 5.3 リリース： Thurs.、 2020 年 8 月 27 日

\_コンポーネント：\_ 5.3 仮想デスクトップサービス \_ 日付： 2020 年 8 月 13 日 (木) 午後 10 時 ~ 午後 11 時 (東部標準時)：\_ エンドユーザのデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。仮想デスクトップサービスへのアクセスは引き続き可能です。

## Virtual Desktop Service の略

- 日付と時刻の情報が現在の日付と時刻として表示されていたスクリプトイベントシナリオのバグ修正

## Azure コスト試算ツール

- Azure Hybrid の機能のリリース
- VM の詳細にカスタム名情報を入力する際の DISPLAY 問題のバグ修正

## VDS 5.3 リリース： Thurs.、 2020 年 8 月 13 日

\_コンポーネント：\_ 5.3 仮想デスクトップサービス \_ 日付： 2020 年 8 月 13 日 (木) 午後 10 時 ~ 午後 11 時 (東部標準時)：\_ エンドユーザのデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。仮想デスクトップサービスへのアクセスは引き続き可能です。

## Azure コスト試算ツール

- エフェメラル OS ディスクのサポートを追加します
- ストレージ選択に関するツールヒントが改善されました
- ユーザが負のユーザ数を入力できるようになったシナリオを禁止します
- AVD とファイルサーバーの両方の選択を使用する場合は、ファイルサーバーを表示します

## VDS 5.3 リリース： Thurs.、 2020 年 7 月 30 日

\_コンポーネント：\_ 5.3 仮想デスクトップサービス \_ 日付： 2020 年 7 月 30 日 (木) 午後 10 時 ~ 午後 11 時 (東部標準時)：\_ エンドユーザのデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。仮想デスクトップサービスへのアクセスは引き続き可能です。

## Virtual Desktop Service の略

- AVD Diagnostics が正しく表示されなかったシナリオのサブセットのバグ修正

## Azure コスト試算ツール

- お客様のデータが高可用性である必要があるかどうかを確認し、必要に応じて、Azure NetApp Files のような PaaS サービスを活用してコストと人件費の節約を利用できるかどうかを定義します

- AVD と RDS の両方のワークロードに対するデフォルトのストレージタイプを Premium SSD にアップデートし、標準化する
- バックグラウンドでパフォーマンスが強化されました

## VDS 5.3 リリース：Thurs、2020 年 7 月 16 日

\_コンポーネント：\_5.3 仮想デスクトップサービス\_ 日付：2020 年 7 月 16 日（木）午後 10 時～午後 11 時（東部標準時）：\_エンドユーザのデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。仮想デスクトップサービスへのアクセスは引き続き可能です。

### Virtual Desktop Service の略

- プロアクティブなセキュリティ強化
- ワークスペースモジュールのパフォーマンスが改善されました。これは、[ユーザーとグループ] タブの下にあるページグループを作成することによって実現します

### VDS セットアップ

- 新しい自動化オプションが利用可能になったときに、Azure Active Directory ドメインサービス（AADDS）を選択して Standard サービス階層を確実に使用できるようにするための更新が行われました
- Microsoft ARM API 呼び出しへの変更を反映するための更新

### HTML5 ログインエクスペリエンス

- ネットアップのブランド力やフレージングを反映するように更新されました

### Azure コスト試算ツール

- 地域ごとに価格を動的に表示します
- リージョン内で関連サービスが利用可能かどうかを表示し、必要な機能がそのリージョンで利用可能になるかどうかをユーザが理解できるようにします。これらのサービスは次のとおりです。
- Azure NetApp Files の特長
- Azure Active Directory ドメインサービス
- NV および NV v4（GPU 対応）仮想マシン

## VDS 5.3 リリース：Thurs.、2020 年 6 月 25 日

\_コンポーネント：\_5.3 仮想デスクトップサービス\_ 日付：2020 年 6 月 25 日（木）午後 10 時～午後 11 時（東部標準時）：\_エンドユーザのデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。仮想デスクトップサービスへのアクセスは引き続き可能です。

### Virtual Desktop Service の略

- ネットアップのブランド力やフレージングを反映するように更新されました
- ユーザのリストが想定どおりに読み込まれなかった独立したシナリオのバグ修正
- 手動での導入が部分的にしか修正されていない GPO 構成を受け取ったシナリオのバグ修正

## VDS セットアップウィザード

- American Express のサポート
- ネットアップのブランド力やフレージングを反映するように更新されました

## REST API

- リストデータの収集と表示を高速化する継続的な機能強化

## VDS 5.3 リリース：Thurs.、2020 年 6 月 11 日

\_コンポーネント：\_5.3 仮想デスクトップサービス\_日付：2020 年 6 月 11 日（木）午後 10 時～午後 11 時（東部標準時）：\_エンドユーザのデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。仮想デスクトップサービスへのアクセスは引き続き可能です。

### Virtual Desktop Service の略

- プロアクティブな API 処理の強化
- プラットフォーム要素の予防的な強化

### クラウドワークスペースツールとサービス

- ライブスケーリングのトリガーに対する継続的な改善
- vCloud から vSphere への導入時に特定された問題の自動修正機能が強化されました

## VDS 5.3 ホットフィックス：Thurs.2020年5月

\_Components：\_5.3 Virtual Desktop Service\_When：\_水曜日 6 月 3 日午前 10 時～10 時 30 分 Eastern  
\_Impact：\_エンドユーザのデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。仮想デスクトップサービスへのアクセスは引き続き可能です。

### クラウドワークスペースツールとサービス

- プラットフォーム導入の自動化された要素のバグ修正。これは新規の導入にのみ適用され、既存の導入環境には影響しません。
- 既存の Active Directory 構造への展開に関するバグ修正

## VDS 5.3 リリース：Thurs.、2020 年 5 月 28 日

\_コンポーネント：\_5.3 仮想デスクトップサービス\_日付：2020 年 5 月 28 日（木）午後 10 時～午後 11 時（東部標準時）：\_エンドユーザのデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。仮想デスクトップサービスへのアクセスは引き続き可能です。

### Virtual Desktop Service の略

- ネットアップのブランド力やフレージングを反映するように更新されました
- Workspace モジュールのパフォーマンスの向上
- プロアクティブな安定性の強化：よく使用される API 呼び出しを基盤とする VDS 機能

## 仮想デスクトップサービスの導入

- VDS プラットフォームの設置面積を Azure 環境でさらに合理化
- 既存の Active Directory 構造に展開する際のオプションシナリオのバグ修正

## Virtual Desktop Service のツールとサービス

- サーバーにログインしているユーザー数をライブスケーリングで識別する方法に対する継続的な改善

## Virtual Desktop Service Web Client の略

- ネットアップのブランド力やフレージングを反映するようにブランディングを更新しました
- デフォルトの Web Client リンクよりも長いお気に入りとして保存された URL の短縮のサポート（[cloudworkspace.com/login/](https://cloudworkspace.com/login/) から [cloudworkspace.com](https://cloudworkspace.com) など）

## Azure コスト試算ツール

- SQL Server のオプションを追加して、VM のシリーズやサイズを増やします
- IP アドレスの価格設定の表示方法を更新します。IP アドレスを追加しない限り、IP アドレスのコストを表示しないでください

## CWMS 5.3 リリース：Thurs、2020 年 5 月 14 日

\_コンポーネント：\_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When：\_木曜日は 2020 年 5 月 14 日午後 10 時～午後 11 時に、Eastern \_Impact：\_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## Azure コスト試算ツール

- ネットアップのブランド / フレージングを反映してメッセージを更新
- プラットフォームサーバーを更新して、D2S v3 の使用を反映させました
- Windows 10 Enterprise E3 ライセンスの詳細と価格を更新
- デフォルトのストレージ選択を Azure NetApp Files に変更します

## CWMS 5.3 Hotfix : Thurs.2020年5月

\_コンポーネント：\_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When：\_金曜日 2020 年 5 月 8 日午前 10 時 15 分～午前 10 時 30 分 Eastern \_Impact：\_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## クラウドワークスペースツールとサービス

- 導入プロセス中に特定の組み合わせの設定に対して DNS レコードが設定されるメソッドのバグ修正

## CWMS 5.3 リリース：Thurs、2020 年 4 月 30 日

\_コンポーネント：5.3 Cloud Workspace Management Suite 日付：2020 年 4 月 30 日（木）午後 10 時～午後 11 時（東部標準時）：\_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### Cloud Workspace Management Suite の略

- セッショントラッキングを改善して、将来の更新を可能にする–将来の機能をプレビューするオプション
- スクリプト化されたイベントを更新して 'アプリケーションとアクティビティの柔軟性を向上させます
- Provisioning Collections 設定の特定の組み合わせに対するバグ修正

### クラウドワークスペースツールとサービス

- AVD ホストプールごとにワークロードスケジューリングを設定できるようにします
- 既存の AD 構造への新規導入の作成プロセスが改善されました
- Azure Files を使用している組織にデータパス、ホームパス、プロファイルデータパスを割り当てる機能を有効にします
- リソースプールを管理する機能を有効にします
- 導入ウィザードでの特殊文字の処理が改善されました
- RDS（AVD ではない）ワークロードの導入の一環として、自動化された HTML5 コンポーネントに対する調整

### REST API

- 導入可能な Azure リージョンのリストが更新されました
- TSDATA の役割を持つサーバの Azure Backup 統合の処理が改善されました
- ログインに失敗した場合にログイン試行が 2 回失敗するシナリオの一部で、問題を解決します

### CWA 設定

- Azure のベストプラクティスに従って、サブネット IP の詳細がプライベート IP アドレス範囲内にあるようにします。受け入れられるプライベート IP 範囲は次のとおりです。
  - 192.168.0.0 ～ 192.168.255.255
  - 172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
  - 10.0.0.0 ～ 10.255.255.255

### HTML5 ログインエクスペリエンス

- の機能強化をホストするバックグラウンド処理 <https://login.cloudworkspace.com> および <https://login.cloudjumper.com>。注：カスタムブランドの HTML5 ログインポータルには影響はありません。
- セルフサービスパスワードリセットが表示されなかったシナリオの一部に対するバグ修正



## CWMS 5.3 Hotfix : Wedn 。 2020年4月

\_コンポーネント: \_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When : \_水曜日 2020 年 4 月 22 日午後 10 時 ~ 午後 11 時にイースタン\_インパクト: \_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### Cloud Workspace Management Suite の略

- ・パフォーマンスアップグレードにより、お客様の使用量の増加に対応

## CWMS 5.3 リリース: Thurs 、 2020 年 4 月 16 日

\_コンポーネント: \_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When : \_木曜日 2020 年 4 月 16 日午後 10 時 ~ 午後 11 時にイースタン\_インパクト: \_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### Cloud Workspace Management Suite の略

- ・ AVD ホストプール VM の作成検証が継続的に強化されている ( COVID-19 による Azure アクティビティの急増が原因で Azure のプロセス時間が考慮される)
- ・ AVD 初期化時の AVD の安定性の向上-AVD テナント名が AVD にグローバルに固有でない場合、CloudJumper は、展開 / テナントに固有の更新された文字列に置き換えられます。
- ・ CWMS パスワードリセット機能では、電子メールアドレスに特殊文字のサポートを含めることができます
- ・ AVD RemoteApp グループにアプリケーションを追加するときに、一部のシナリオのバグ修正が [ スタート ] メニューからアプリケーションをプルしませんでした
- ・ ユーザーアクティビティレポートのサブセットに対するバグ修正
- ・ AVD ホストプールの概要の要件を削除します ( オプションフィールドおよびそのまま) 。
- ・ 共有ホストプール内の VM が VDI VM としてタグ付けされた単一フリンジのシナリオに対するバグ修正

### CWA 設定

- ・ Distributor ワークフローのオーダーコードの追加サポート

### クラウドワークスペースツールとサービス

- ・ Solarwinds Orion RMM ツールで管理される VM の管理を停止する機能が強化され、ワークロードスケジューリングに対応しました

## CWMS 5.3 リリース: Thurs 、 2020 年 4 月 2 日

\_コンポーネント: \_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When : \_木曜日 2020 年 4 月 2 日午後 10 時 ~ 午後 11 時にイースタン\_インパクト: \_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## Cloud Workspace Management Suite の略

- アクティビティ履歴：日付のローカライズによって一部のアクティビティ履歴が CWMS に表示されない地域展開のディスプレイ問題を解決します
- 画像のサイズを問わないコレクション拡張をプロビジョニングします
- Azure テナント内の AADDS の複数のドメインに対するバグ修正-新しく作成されたユーザーは、Workspace のログイン ID を照合するのではなく、以前にプライマリ Azure ドメインを使用していました
- ユーザ名の更新時のアクティビティ履歴のバグ修正-機能は正常に動作していますが、以前のユーザ名は正しく表示されませんでした

## CWA 設定

- 登録時に使用される CWMS アカウントでの MFA の処理が改善されました
- 導入時に適用される権限が少なくなりました

## クラウドワークスペースツールとサービス

- 継続的なサービス / 自動化に必要な権限の削減
- CWMGR1 でのリソース消費を削減するためのプロセス強化

## REST API

- ユーザ名の更新時のアクティビティ履歴のバグ修正

## CWMS 5.3 Hotfix : Tues.2020年3月

\_コンポーネント: \_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When: \_2020 年 3 月 24 日 (火) 午後 10 時 ~ 午後 11 時にイースタン\_インパクト: \_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## Azure コスト試算ツール

- AVD ユーザータイプの概要と、Microsoft のドキュメントに従って実行されるプログラムを更新
- CWMS ライセンスの明確性が向上しました

## CWMS 5.3 リリース: Thurs、2020 年 3 月 19 日

\_コンポーネント: \_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When: \_木曜日 2020 年 3 月 19 日午後 10 時 ~ 午後 11 時 Eastern\_Impact: \_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## Cloud Workspace Management Suite の略

- 複数サイトへの展開のためのサーバ拡張機能への接続 - CWMS 管理者が接続しているサイトを自動的に検出し、接続を処理します
- 移行モードを有効にすると、ライブスケールリングが無効になります

- 既存のクライアントで新しい Cloud Workspace Services を有効にするためのバグ修正

## CWA 設定

- 導入ウィザードの機能強化が裏で行われました

## CWMS 5.3 リリース： Thurs 、 2020 年 3 月 5 日

\_コンポーネント： \_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_ When： \_木曜日 2020 年 3 月 5 日午後 10 時 ~ 午後 11 時 Eastern\_ Impact： \_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。 Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### Cloud Workspace Management Suite の略

- Master Client レポートのパフォーマンス向上
- 正しく作成されなかった VM から削除機能を削除します。これは、作成されていない VM は削除できないためです

### クラウドワークスペースツールとサービス

- DC Config 設定が適切に構成されていないマルチサイト環境を正常に処理するためのバグ修正
- vSphere サイトのリソース割り当てタイプが Fixed に設定されているマルチサイト環境のバグ修正

## HTML 5 ポータル

- AVD 資格情報を使用してログインするユーザーのプロセス拡張機能

## Azure コスト試算ツール

- ライブスケーリングのための明確な改善
- Microsoft AVD メッセージングに合わせた調整
- ワークロードのスケジューリングおよびライブスケーリングの削減の詳細に関するバグ修正。大幅にカスタマイズされた見積もりに含まれます

## CWMS 5.3 リリース： Thurs. 、 2020 年 2 月 20 日

\_コンポーネント： \_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_ When： \_木曜日 2020 年 2 月 20 日午後 10 時 ~ 午後 11 時 Eastern\_ Impact： \_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。 Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### Cloud Workspace Management Suite の略

- ワークスペースモジュールの VM リソースタブで SDDC を配置に切り替えます

## CWA 設定

- 導入中にポリシーを適用するプロセスを合理化

- Azure Active Directory ドメインサービスを使用した新規導入に対するセキュリティの強化
- 新しい導入のセキュリティを強化–導入時に（フラットサブネットではなく）サブネットの分離を定義する必要があります
- ThinPrint ライセンスを適用する際の RDS（非 AVD）展開のバグ修正
- ThinPrint が DC Config にインストールされているかどうかを適切に処理するためのバグ修正
- FTP 機能の利用を選択する組織の追加のチェックと検証

## クラウドワークスペースツールとサービス

- 複数のサイトを含む導入環境に誤って設定されたサイトがある場合の自動化されたアクションのバグ修正
- VM を削除してもバックグラウンドで VM が正しく消去されないインスタンスのバグ修正
- DC Config でハイパーバイザー接続をテストする際の機能の改善とバグ修正

## REST API

- 組織のユーザーのリストを表示する際のパフォーマンスの向上
- 組織のアプリケーションのリストを表示する際のパフォーマンスの向上
- AVD アプリケーショングループにユーザーを追加する際の機能強化：
- 425 にインポートするユーザーの数を制限します
- 425 ユーザを超えるユーザをインポートしようとする場合は、最初の 425 ユーザのインポートに進み、ユーザインポートに対する AVD の制限が 425 であることを表示し、5 分以内に追加のインポートを続行できることを確認します
- グループ内のユーザーの数が、グループ内のユーザーの総数とは対照的に、グループ内のクラウドワークスペースユーザーの数であることを反映するために更新します（既存の Active Directory 構造に展開する場合は少なくなることがあります）。
- グループのメンバーである名前付きユーザーのセキュリティグループを使用して、アプリケーションの割り当てを有効にします（ネストされたグループは、アプリケーションの割り当てを受け取りません）。

## Azure コスト試算ツール

- ユーザーが支援を依頼できるように、ページの下部にリンクを追加します
- Premium レベルのデフォルトの Azure NetApp Files
- プレミアム SSD をファイルサーバストレージタイプの選択肢に追加します
- Azure Active Directory ドメインサービスのテキストを更新–AADDS から Azure AD ドメインサービスに変更
- Active Directory のテキストの更新–Windows Active Directory VM から Windows Server Active Directory に変更します

## CWMS 5.3 Hotfix : Thurs 、 2020 年 2 月 13 日

\_Components : \_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When : \_ Thursday February 13 、 2020 年 2 月 13 日午後 10 時 ~ 午後 11 時 Eastern \_Impact : \_ エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## Azure コスト試算ツール

- 一部のシナリオで E シリーズ VM を使用する際の価格設定エラーに対するバグ修正

## CWMS 5.3 リリース： Thurs. 、 2020 年 2 月 6 日

\_コンポーネント： \_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When： \_Thursday February 6、 2020 年 2 月 6 日午後 10 時 ~ 午後 11 時 Eastern\_Impact： \_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。 Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### Cloud Workspace Management Suite の略

- VM 作成プロセスのプロビジョニングステータスの詳細が改善されました
- AVD ホストプールの一部である、新しく作成されたセッションホスト VM の自動化処理の改善
- 「サーバアクセスユーザのみ」を含む場合のユーザアクティビティレポートのパフォーマンスの向上

### クラウドワークスペースツールとサービス

- 管理者が従来の（ Azure 以外の） Active Directory のユーザアカウントを手動で編集する際のデータパス管理のバグ修正
- 微妙なシナリオにおけるワークロードスケジューリングの安定性が向上しました

## Azure コスト試算ツール

- ワークロードスケジューリングとライブスケーリングによって達成された具体的な削減について、別々に説明します組み合わせ（ Combined ）
- Premium （ SSD ）ストレージをサポートするために、サーバの「 S 」バージョンを表示します
- 印刷された概算見積書のレイアウトを改善
- SQL Server の価格が正しく計算されなかった問題のバグ修正

## CWMS 5.3 リリース： Thurs 、 2020 年 1 月 23 日

\_コンポーネント： \_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When： \_Thursday January 23、 2020 年 1 月 23 日午後 10 時 ~ 午後 11 時 Eastern\_Impact： \_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。 Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### Cloud Workspace Management Suite の略

- 古いをリダイレクトします <https://iit.hostwindow.net> 近代的なホテル <https://manage.cloudworkspace.com>
- IE 11 経由でログインしている CWMS 管理者のサブセットに関するバグ修正
- API ユーザを削除すると、そのユーザはバックグラウンドで正しく削除されますが、 CWMS では削除済みと表示されていなかったビジュアル問題を修正します
- サブスクリプションをクリアするプロセスを合理化して '新しい / テスト環境を再プロビジョニングできます

- ・ サービスボードの機能強化-アプリケーションのショートカットに使用するアイコンがオンラインになっているセッションホストサーバーのみを確認します

#### クラウドリソースアプリケーション

- ・ コマンドラインを使用した OU または Active Directory セキュリティグループからのユーザのインポートをサポートします

#### クラウドワークスペースツールとサービス

- ・ ライブスケーリングの拡張機能がバックグラウンドで強化されました

#### CWA 設定

- ・ CWA セットアッププロセスで使用されるアカウントに MFA が適用されている場合のシナリオの処理が改善されました

#### Azure コスト試算ツール

- ・ VM のサイズ設定をデフォルトで更新して、Microsoft の推奨事項を反映させます

### CWMS 5.3 リリース： Thurs 、 2020 年 1 月 9 日

\_コンポーネント： \_5.3 Cloud Workspace Management Suite \_When： \_Thursday January 9、2020 年 1 月 9 日午後 10 時 ~ 午後 11 時 Eastern \_Impact： \_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

#### Cloud Workspace Management Suite の略

- ・ 電子メール管理者のフレー징の更新は、更新されたリンクを反映するために新しいワークスペースを作成した後に受信されます
- ・ 一連のフォルダ権限エラーが存在する場合、サーバーがサーバーリストに表示されていなかった問題のバグ修正
- ・ CWMGR1 の Resource Pools テーブルにリソースプールが存在しない場合、サーバのバグ修正は Servers リストに表示されませんでした

#### クラウドリソースアプリケーション

- ・ Active Directory セキュリティグループからのユーザのインポートをサポートします。
- ・ 検証機能の強化：コマンドラインの引数 / サーバに適切なコマンドラインパラメータを使用していることを確認します
- ・ 検証機能の強化：コマンドラインからインポートする際に、重複するユーザーをチェックします
- ・ 検証機能の強化：コマンドラインからインポートするときに指定したサイトにインポートするサーバが属していることを確認します

#### REST API

- ・ セキュリティ機能の強化が舞台裏で追加されています

## クラウドワークスペースツールとサービス

- コマンド処理の安定性が向上しました
- ワークロードのスケジューリングとライブスケーリングの強化
- ワークロードのスケジュール設定と、バックグラウンドでのライブスケーリングの安定性が向上します
- 新しい展開における FSLogix の更新と機能強化：ダウンロードとお気に入りをプロファイルコンテナにリダイレクトして、ベストプラクティスに一致させます
- ホストプール VM の作成の安定性がさらに強化されています
- 新しいサイトのゲートウェイを指定できるようになります
- VM の自動検証機能が向上
- 自動化されたデータベース管理の向上
- VM の電源がオフになったときに同じ操作が実行されるようになったため、ユーザ作成処理の効率が向上しました
- Microsoft Azure 環境での一時ディスクの処理が合理化されました
- GCP 展開のリソース割り当てタイプの処理が改善されました
- ProfitBricks データセンターのドライブ拡張に関するバグ修正
- App Services ベースのクライアント作成の安定性が向上しました
- サーバをあるロールから別のロールに変換した後のバグ修正と安定性の向上

## CWMS 5.3 リリース：2019 年 12 月 20 日（金）

\_コンポーネント： 5.3 Cloud Workspace Management Suite 日付： \_ 金曜日 2019 年 12 月 20 日午後 10 時 ~ 午後 11 時（Eastern Impact）： \_ エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## クラウドワークスペースツールとサービス

- ユーザアクティビティのロギングでデータが正常に記録されないシナリオを修正しました

## CWMS 5.3 リリース：Thurs.、2019 年 12 月 19 日

\_コンポーネント： \_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When： \_ Thursday December 19（2019 年 12 月 19 日午後 10 時 ~ 午後 11 時）： \_ エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## Cloud Workspace Management Suite の略

- CWMS 可用性モニタリングの改善
- AVD アプリケーショングループのユーザーモダルを使用した問題の場合、大文字が含まれていると、ユーザー名が正しく選択されないことがあります
- 「User Support Only」管理者ロールメンバーのユーザリストのページ付けを修正しました

- MFA セットアップダイアログでラジオボタンの配置を修正
- サービスボードの依存関係を削除することで、ダッシュボード / 概要ページのロードが改善されました
- 管理者ユーザーが管理者権限を持っていない場合、自分のパスワードをリセットできない問題の修正
- 将来のトラブルシューティングのためにデバッグログを収集する機能が改善され

#### クラウドリソースアプリケーション

- 機能拡張：AD グループメンバーシップに基づいてユーザのインポートを許可します。
- 機能拡張：インポート時にデフォルトのログオン識別子を指定できるようにします

#### Azure コスト試算ツール

- VM 下のストレージに関するテキストとツールチップを改善する

#### CWA 設定

- 導入ワークフローが改善されました

#### クラウドワークスペースツールとサービス

- 新しいユーザ作成時のデータサーバのロック処理の改善
- ワークロードのスケジュール設定中に、クライアントにキャッシュ会社として誤ったフラグが設定される状況を修正しました
- ワークスペースなしで組織が作成されたときに会社テーブルを正しく更新する修正
- ローカルコントロールプレーンデータベース内の AVD ホストプール名に付加された無効な文字の修正
- ワークロードのスケジュール設定を使用した問題に対して、VM がローカルのコントロールプレーンデータベースに表示され、ハイパーバイザーに表示されないように修正しました
- 一部の VM のドライブが Azure ハイパーバイザーで自動的に拡張されないように、問題を修正しました
- クライアントプロビジョニングエラー「applied data drive not valid」の修正
- 特定のシナリオで CWAagent のインストールに失敗した場合の修正
- TestVDCTools の改善により、新しいサイトの作成時に RDS ゲートウェイ URL を割り当てることが可能になりました
- 「disabled」に設定されている一部のシナリオで、ワークロードのスケジューリングエラーが修正されました
- キャッシュ内にサーバーがまだ存在する場合の問題を修正しました
- ドライブの自動拡張後に一部の VM の電源投入に失敗した場合の修正
- Azure NetApp Files で Azure ファイルまたは問題を使用する際のフォルダ / 権限の管理に関する問題が修正されました

### CWMS 5.3 リリース : Mon.2019年12月

\_コンポーネント : \_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When : \_月曜、2019 年 12 月 2 日午後 10 時 ~ 午後 11 時、Eastern \_ Impact : \_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびア



アプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### Cloud Workspace Management Suite の略

- FSLogix の自動インストールに対する機能強化
- ライブスケーリングの更新と修正
- CWMS のドロップダウンリストに AMD (GPU 以外の) VM を追加します
- 同じ AVD 環境で複数のテナントをサポート

### CWA 設定

- CWA 設定のヘルプ / サポートセクションでの明確な改善

### Azure コスト試算ツール

- 見積もりに Microsoft ライセンスを含まないことを選択したシナリオのバグ修正が引き続き含まれます

### クラウドリソースアプリケーション

- データセンターサイトのコマンドライン機能を使用する際の追加の検証
- 新しいコマンドライン引数 - /listserversinsite
- 設定の拡張—会社をインポートするときに、サイトに設定されている RDSH ゲートウェイを使用するように RDSH 展開を設定します

### クラウドワークスペースツールとサービス

- DC 構成の vCloud サポート要素を更新しました
- より具体的なシナリオでサーバタイプを正しく検出するための TestVDCTools の機能強化

## CWMS 5.3 リリース：Thurs.、2019 年 11 月 14 日

\_コンポーネント：\_5.3 Cloud Workspace Management Suite \_When：\_Thursday November 14、2019 年 11 月 14 日午後 10 時～午後 11 時 Eastern \_Impact：\_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### Cloud Workspace Management Suite の略

- 冗長性と高可用性がバックグラウンドで追加されています
- CWMS のドロップダウンメニューが検索可能になります
- ワークスペースモジュール使用時のパフォーマンスの向上
- ワークスペースモジュールのサーバーセクションを使用した場合のパフォーマンスの向上
- ワークスペースモジュールのサーバーセクションにホストプール名を表示します
- ワークスペースモジュールのサーバーセクションがページ設定され、一度に 15 台のサーバーが表示されます

- バグ修正：一部の管理者が新しいホストプールを作成しても VM テンプレートが表示されないシナリオ
- ホストプールに移動するシナリオのバグ修正では、2 番目のホストプールに最初のホストプールからの情報が表示される場合があります
- 管理者のサブセットが旧バージョンの CWMS にログインできなかったバグ修正
- AVD Diagnostics に移動し、ワークスペースに戻り、「ページが見つかりません」というバグ修正が表示されました
- ホストプールの名前と一致するように、ユーザのデスクトップのフレンドリ名（AVD RDP クライアントに表示される名前と、ユーザセッションの上部にある青いバーに表示される名前）を変更します
- サーバは、デフォルトではオフになっている [新しいセッションを許可する] チェックボックスを使用して、手動でプールに追加する必要があります。チェックボックスはデフォルトでオンになっています。

## CWA 設定

- 導入環境では FSLogix が自動的に使用されるようになりました
- Azure Active Directory ドメインサービスを使用する場合は、Data、Home、Profile ストレージのオプションのストレージターゲットとして Azure ファイルを追加します
- Azure テナントで RBAC が有効になっている場合に導入の自動化をサポートするパッケージを導入する
- 各導入環境に最新バージョンの Java および HTML5 ライセンスをインストールします
- サブネット範囲が正しく計算されなかった場合のバグ修正。導入前に検証エラーが発生しました

## HTML5 ログインエクスペリエンス

- デフォルトのブランディングを更新して、Cloud Workspace Client for Windows のブランディングを反映させてください。プレビューはこちらからご覧いただけます。
- 追加ブランドの HTML5 ログインページにインプレースブランディングの更新を適用します

## Azure コスト試算ツール

- D4s v3 VM（AVD のデフォルトの VM タイプ）のデフォルトストレージ階層を Premium SSD に更新して、Microsoft のデフォルト設定に合わせます

## クラウドリソースアプリケーション

- インポート時に使用する会社コードを事前に割り当てる機能を追加します

## CWMS 5.3 リリース：Thurs.、2019 年 10 月 31 日

\_ コンポーネント：5.3 *Cloud Workspace Management Suite* 日付：\_ 木曜日 2019 年 10 月 31 日午後 10 時 ~ 午後 11 時（東部標準時）：\_ エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## Cloud Workspace Management Suite の略

- iit.hostwindow.net にログインしているユーザのための更新（古いバージョンの v5.2 展開の URL は非常に少ない）は、manage.cloudworkspace.com（v5.3 および今後の展開の URL）に移動するように指示するプロンプトを表示します。

- ユーザが CWMS を使用して AVD ホストプールを削除できるようにします
- 今後の CWMS でのブランディングの強化を可能にする機能強化
- VDI Provisioning Collection を検証する際の問題のバグ修正

## Deployment Automation

- 自動化された問題解像度と、プロセスの合理化による舞台裏での改善

## HTML5 ログインエクスペリエンス

- login.cloudjumper.com または login.cloudworkspace.com から仮想デスクトップにログインするエンドユーザに対して、一連のユーザエクスペリエンスの向上を行います。
- ユーザがアクセスできる AVD ホストプールを表示できるようにします
- 適切な権限を持つユーザーに対して Wake On Demand 機能を有効にし、AVD セッションのホスト VM がオフラインになるようにスケジュールされているときにログインして作業できるようにします
- CWMS のユーザーアカウントに電子メールまたは電話番号が設定されているユーザーに対して、セルフサービスパスワードリセットを有効にします

## Azure コスト試算ツール

- AD Connect のユースケースに対して AVD を選択した後、ユーザーが Windows Active Directory VM を選択できるようにします
- Microsoft のデフォルト値に合わせて、すべての VM のデフォルトのストレージ容量を 128 GB に更新します
- Microsoft のデフォルト値に合わせて、アップタイム時間のデフォルト設定を 220 に更新します
- Microsoft が変更した名前に一致するようにワークロードタイプの名前を更新します

## CWMS 5.3 リリース：Thurs.、2019 年 10 月 17 日

コンポーネント： 5.3 Cloud Workspace Management Suite When： Thursday October 17、2019 年 10 月 17 日午後 10 時～午後 11 時 Eastern Impact： エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## Cloud Workspace Management Suite の略

- 組織のワークスペースの OS として Server 2019 をサポートします
- AVD ホストプール内のアクティブユーザーの表示を改善するために更新します
- AVD 展開で複数の組織 / ワークスペースを許可します
- 管理者に関連付けられた複数のフィールドを編集するには、[更新] ボタンを追加します
- 会社の詳細と連絡先情報を編集するには、[更新] ボタンを追加します
- Flight School を使用するための検索機能が更新されました
- CWMS の下部にあるリンクを更新
- AVD 展開で検証ホストプールを使用できるようにします。これにより、AVD 機能が GA（本番リリース

）になる前に、AVD 機能に以前からアクセスできるようになります。

- AADDS 展開で管理者が行ったアクションに応答するプロンプトで、タイプミスを修正します
- App Services の権限がない管理者への確認を求めるバグ修正

## REST API

- 組織のワークスペースの OS として Server 2019 をサポートします
- 呼び出しがクライアントのサービスをオフラインとして返すシナリオのバグ修正

## Deployment Automation

- データセンターサイト名の自動生成に関するバグ修正
- 要約されたログファイルと c : \Program Files to c : \ProgramData に移動されたログファイル

## クラウドワークスペースツールとサービス

- Azure Shared Image Gallery からのテンプレートへのアクセスのサポート
- セキュリティの向上–ログファイルの場所を c : \Program Files から c : \ProgramData（また、Microsoft の更新されたベストプラクティス）に変更することにより、管理アカウントの使用を削減する
- VDCTools でのデータセンターサイト作成の機能強化–サイトは名前にスペースを使用して作成できます
- データセンターサイトの自動作成機能の追加–アドレス範囲を自動的に選択できるようになりました
- 機能の追加–管理対象外の VHD ファイルをテンプレートとして使用するための構成オプションを追加します
- プロビジョニングコレクションでの VM シリーズ / サイズの割り当てのサポート
- ライセンスサーバー設定が不適切に適用されたシナリオのサブセットのバグ修正
- バグ修正–展開後に意図したとおりに一時フォルダを削除します
- Azure ですでに使用されている VM と同じ IP アドレスを持つサーバを作成する場合のバグ修正

## Azure コスト試算ツール

- AVD のお客様が Windows OS VM ではなく Linux OS VM を購入したことを反映して価格を更新します
- 関連する Microsoft ライセンスを含めるオプションを追加しました
- Microsoft の更新された計算機に従って使用されるストレージのデフォルトに更新します（フラットまたはユーザ数）
- SQL に関して D4s v3 VM の料金を追加
- VM の編集時に表示問題のバグ修正

## CWMS 5.3 リリース：Thurs.、2019 年 10 月 3 日

\_コンポーネント：\_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When：\_Thursday October 3、2019 年 10 月 3 日午後 10 時～午後 11 時 Eastern\_Impact：\_エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## Cloud Workspace Management Suite の略

- [戻る] をクリックすると、[組織] タブではなく [ワークスペース] タブに戻ります
- CWMS を使用して Azure でクラウドワークスペースをプロビジョニングする場合は、検証ステップで AADDs が正常に検証されていることを確認します
- 最大 256 文字のユーザ名をサポートします

## CWA 設定

- ユーザが自分のアカウントを CWMS にリンクしていても、初めて導入のプロビジョニングを完了していない場合に、リンクされたパートナーアカウントを覚えておくためのシステムの改善点
- CSP ワークフロー中にクラウドワークスペース展開をプロビジョニングするテナントを選択したときに表示される javascript エラーのバグ修正

## Azure コスト試算ツール

- Azure Cost Estimator で Microsoft のライセンスを表示するかどうかを選択するオプションを追加します
- この機能を有効にしないと (デフォルトの動作)、組織が EA または既存の Microsoft Office 365 ライセンスを介してすでに Microsoft ライセンスを所有していることを前提としています
- これを有効にすると、解決策をより包括的に TCO レベルで理解できます
- ユーザが 15 分単位でアップタイムを切り替えていたときに、アップタイムがわずかにオフになったバグ修正
- ユーザが午後 / 夕方 (PM 設定) に開始するように設定し、朝 (AM 設定) に終了するシナリオのバグ修正

## CWMS 5.3 リリース: Thurs.、2019 年 9 月 19 日

コンポーネント: 5.3 Cloud Workspace Management Suite When: Thursday September 19 (2019 年 9 月 19 日午後 10 時 ~ 午後 11 時): エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## Cloud Workspace Management Suite の略

- デフォルトでは、Azure 導入のリソース割り当てタイプは [Fixed] に設定されています。選択されている VM シリーズ / サイズは、CWMS の管理者によって定義された VM です
- ユーザアクティビティ 監査機能の検索機能を追加します
- ユーザーの一括作成プロセスの改善-ユーザーをインポートするときに、[次回ログオン時にパスワード変更を強制する] 機能を有効にします
- バグ修正により、55 分ではなく 5 分後にセッションの非アクティブ時のタイムアウトに関する警告が誤って表示される
- ユーザーサポートロールの修正-このロールを持つ管理者のサブセットが、組織のユーザーのリストを表示できませんでした
- ユーザによるソート修正-ユーザ名でソートすると、ステータスでソートするのではなく、目的の操作を行うことができます

- [Deployments] タブの [Overview] セクションに、ハートビート機能が追加されました。これは、展開が最後にポーリングされてオンラインかどうかを確認するときに表示されます
- ワークフローの改善 - AVD モジュールで [ 戻る ] をクリックすると、組織モジュールではなくワークスペースモジュールが使用されます
- マスタークライアントレポートが存在することを確認します。非マスターソフトウェアパートナーの該当しない SPLA レポートは非表示にしてください

## クラウドワークスペースツールとサービス

- AVD でサポートされている ThinPrint エージェントではないため、ホストプール内の Azure Virtual Desktop (AVD) サーバから標準の ThinPrint エージェントを削除します。その代わり、企業は「リストアに関する解決策」について ThinPrint に問い合わせる必要があります。
- 強化されたパスワード暗号化機能
- CWMGR1 の管理者がパスワードの有効期限を Null に設定した場合、パスワード強制通知 (PEN) のバグ修正。「次回ログイン時にパスワードを変更」機能を使用しても、意図したとおりに動作しませんでした

## Cloud Workspace for Azure セットアップアプリ

- 国際的な管理者向けの修正-国が米国でない場合は、これを長くすると州が必要になります。
- Partner Admin Link (PAL) 経由で CloudJumper を適用すると、Azure のサブスクリプションレベルでの提供と今後の導入が可能になります

## CWMS 5.3 リリース: Thurs.、2019 年 9 月 5 日

\_コンポーネント: 5.3 Cloud Workspace Management Suite 日付: \_木曜日 2019 年 9 月 5 日午後 10 時 ~ 午後 11 時 (Eastern \_Impact): \_エンドユーザー向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## Cloud Workspace Management Suite の略

- User Support Only ロールの更新:
- 検索 / フィルタリングユーザー機能を追加します
- ユーザーとその接続に接続ステータス列を含める
- 次回ログイン時にパスワード変更を強制する機能へのアクセスを提供します
- クライアント削除機能の表示を削除します
- 1 時間非アクティブの後に CWMS のログアウトを強制します
- リソース割り当てタイプが固定に設定されている VM ロールを表示するときに、VM シリーズ / サイズが正しく表示されないという表示問題の修正
- Display 問題では、ワークロードのスケジューリングが [ 常にオフ ] に設定されている環境では、CWMS で不適切な設定が表示されていましたが、正しくは [ 常にオフ ] に設定されています
- アクセス権の更新- CWMS 管理者が CWMS の Resources 関数にアクセスできない場合は、[ リソーススケジュール ] タブを削除します
- VDI ユーザホストプールに複数の VM インスタンスを追加できないようにします

- AVD ホストプール内のセッションホストあたりの最大ユーザー数の修正を表示-これらの値は、[ワークロードのスケジュール] タブの [ライブスケーリング] セクションで設定された値と一致します

## クラウドリソースアプリケーション

- 機能の更新-コマンドラインの使用方法のサポート

## クラウドワークスペースツールとサービス

- vCloud REST インターフェイスのサポート

## CWMS 5.3 リリース：2019 年 8 月 22 日

\_コンポーネント：\_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When：\_Thursday August 22、2019 年 10 時 ~ 23 時 Eastern\_Impact：\_エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### 5.3 Cloud Workspace Management Suite の略

- AVD がサポートされる状況を定義する [AVD] タブにメッセージを追加します
- AVD タブからワークスペースに戻るときのワークフローが改善されました
- AVD モジュールの説明のテキスト編集

### 5.3 Cloud Workspace for Azure のセットアップ

- お客様の登録が米国外の場合は、州への入国要件を削除します
- 現在、CWMGR1 を D シリーズ VM として展開し、初期展開後のコスト目的で B2ms にサイズ変更します

## クラウドワークスペースツールとサービス

- レガシー（2008 R2）環境での SSL 証明書管理に関するバグ修正
- 証明書の適用とライフサイクル管理に関するその他の健全性チェック

## CWMS 5.3 リリース：2019 年 8 月 8 日

\_コンポーネント：\_5.3 Cloud Workspace Management Suite\_When：\_Thursday August 8、2019 年 10 時 ~ 23 時 Eastern\_Impact：\_エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### 5.3 Cloud Workspace Management Suite の略

- CWMS から CWMGR1 に接続するシナリオのサブセットに関するバグ修正が期待どおりに機能していません

# Cloud Workspace Management Suite –バージョン 5.2



今後の CWMS v5.2 については、リリースはすべて修正プログラムと見なされます。

## **CWMS 5.2 リリース： 2019 年 12 月 2 日、月**

コンポーネント： 5.2 Cloud Workspace Management Suite 、 2019 年 12 月 2 日（月）午後 10 時～午後 11 時（東部標準時）：エンドユーザ向けの Cloud Workspace デスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

このリリースサイクルの更新はありません。

## **CWMS 5.2 リリース： Thurs.、 2019 年 11 月 14 日**

コンポーネント： 5.2 Cloud Workspace Management Suite 、 2019 年 11 月 14 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままとなります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

このリリースサイクルの更新はありません。

## **CWMS 5.2 リリース： Thurs.、 2019 年 10 月 31 日**

コンポーネント： 5.2 Cloud Workspace Management Suite 、 2019 年 10 月 31 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

このリリースサイクルの更新はありません。

## **CWMS 5.2 リリース： Thurs.、 2019 年 10 月 17 日**

コンポーネント： 5.2 Cloud Workspace Management Suite 、 2019 年 10 月 17 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままとなります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

このリリースサイクルの更新はありません。

## **CWMS 5.2 リリース： Thurs.、 2019 年 10 月 3 日**

コンポーネント： 5.2 Cloud Workspace Management Suite 、 2019 年 10 月 3 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままとなります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

このリリースサイクルの更新はありません。



## CWMS 5.2 リリース： Thurs.、 2019 年 9 月 19 日

コンポーネント： 5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 9 月 19 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままとなります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### Cloud Workspace Management Suite の略

Azure 展開のリソース割り当てタイプを既定値として [ 固定 ] に設定します。選択された VM シリーズ / サイズが、CWMS の管理者によって定義された VM であるユーザアクティビティ監査機能のバグ修正セッション非アクティブタイムアウト警告を誤って表示する問題 5 分後にユーザサポートロール修正-このロールを持つ管理者のサブセット 組織のユーザーのリストを表示できませんでしたユーザーのソート修正-ユーザー名でソートすると、ステータスでソートする代わりに意図したとおりに機能します。マスタークライアントレポートが存在することを確認します。非マスターソフトウェアパートナーの該当する SPLA レポートを非表示にします

### Cloud Workspace のツールとサービス

パスワード失効日が CWMGR1 の管理者によって null に設定されている場合、パスワード強制通知（PEN）のための強化されたパスワード暗号化機能を使用すると、意図したとおりに「次回ログオン時のパスワード変更」機能を使用できませんでした

### Cloud Workspace for Azure セットアップアプリケーション

国際的な管理者向けの修正-国が米国でない場合は、これを長くすると州が必要になります。Partner Admin Link （PAL）経由で CloudJumper を適用すると、Azure のサブスクリプションレベルでの提供と今後の導入が可能になります

## CWMS 5.2 リリース： Thurs.、 2019 年 9 月 5 日

コンポーネント： 5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 9 月 5 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままとなります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### Cloud Workspace Management Suite の略

User Support Only ロールの更新： \* 検索の追加 / ユーザーのフィルタリング機能 \* ユーザーとその接続の [ 接続ステータス ] 列を含む \* 次のログイン時にパスワードを強制変更する機能へのアクセスを提供 \* [ クライアントの削除 ] 機能の表示を削除 1 時間非アクティブの後に CWMS のログアウトを強制するディスプレイ問題の修正 リソース割り当てタイプが固定に設定されている VM ロールを表示するときに、VM シリーズ / サイズが正しく表示されないという問題が表示される問題では、ワークロードのスケジュールが常にオフに設定されている環境の CWMS で不適切な設定が表示されていました。[ 権限の更新 ] のシーンの背後で [ 常にオフ ] に正しく設定されているにもかかわらず、CWMS 管理者が CWMS の [ リソース ] 機能にアクセスできない場合は、[ リソースのスケジュール ] タブを削除します

### クラウドリソースアプリケーション

機能の更新-コマンドラインの使用方法のサポート

## Cloud Workspace のツールとサービス

### vCloud REST インターフェイスのサポート

## CWMS 5.2 リリース：Thurs.、2019 年 8 月 22 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 8 月 22 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままとなります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### Cloud Workspace Management Suite の略

一部のモニターサイズのユーザープロファイルでディスプレイ問題を修正する動的でないアプリケーションサービスについて明確にするメッセージを追加します。変更が有効になるまでに数分かかる場合があることを管理者に通知します。動的でないアプリケーションサービスの場合は、[再更新] ボタンを追加して、新しいクライアント / ユーザーが持っているかどうかを簡単に確認します が追加されました

### Cloud Workspace for Azure のセットアップ

既存の CWMS アカウントへのリンクを確立する際の登録プロセスの MFA のサポートを追加プロビジョニング後の手順へのリンク-新しい公開 KB の改善へのリンクとプロビジョニング後の手順へのリンク-リンクが新しいタブに表示されます

## Cloud Workspace のツールとサービス

レガシー（2008 R2）環境での SSL 証明書管理に関するバグ修正証明書の適用とライフサイクル管理に関する追加の健全性チェック

## CWMS 5.2 リリース：Thurs.、2019 年 8 月 8 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 8 月 8 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けの Cloud Workspace デスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

このリリースの更新はありません。

## CWMS 5.2 リリース：Thurs.、2019 年 7 月 25 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 7 月 25 日（木）午後 10 時から 23 時（東部標準時）：エンドユーザ向けの Cloud Workspace デスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### 5.2 CWA のセットアップ

CWA セットアップユーザーを CloudJumper Public KB に誘導するメッセージをプロビジョニング後に表示します。ここでは次の手順を確認し、登録プロセス時に米国外の国の処理を改善する方法を確認できます。また、新しく作成した CWMS のパスワードを確認するフィールドを追加しました RDS ライセンスが不要な場合は、CWA 設定プロセス中にログインして SPLA ライセンスを削除します

## 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

単一サーバー展開での CWMS 管理者に対する HTML5 接続処理の改善ユーザーの処理を再開するシナリオのバグ修正（以前に失敗した場合） RDS ライセンスが不要な状況では、「Internal Server Error」というメッセージが表示され、CWMS 内の自動 SSL 証明書処理や自動 SMTP などの SPLA ライセンスの削除セクションが表示されました

## 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

VDI ユーザーが電源オフに設定されているときに VM からログアウトすると、その VM の Azure Backup 拡張機能の電源がオフになります。TSD1 サーバを VM としてリストアする場合は、TS VM としてリストアする。追加の TSD VM を用意する代わりに、バックエンド処理速度とセキュリティを向上させる Azure バックアップ用の Azure VM を用意する

## 5.2 REST API

サーバ情報の処理が改善され、Wake-on-Demand サーバのロード時間が短縮されました

## CWMS 5.2 リリース：Thurs.、2019 年 7 月 11 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 7 月 11 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザー向けの Cloud Workspace デスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

バックグラウンドで継続的にセキュリティを強化自動生成証明書の継続的な安定性の強化最小特権方法論の改善権限の少ないアカウントを使用するように調整し、一般的なロックダウンの影響を受けないように調整して、Azure 展開用の統合バックアップのための夜間リブートの改善 GCP 展開バグ修正のための統合バックアップの改善を実行します 必要に応じて、手動で証明書を管理できるようにするために、すでにプロセス強化が修正されている場合に、リソース調整を適用するためにサーバを再起動する必要はなくなりました

## CWMS 5.2 リリース：Thurs.、2019 年 6 月 20 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 6 月 20 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザー向けの Cloud Workspace デスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

CRA プロセス経由で CWMS にインポートされたユーザーの処理が改善されました。CWMS Web インターフェイスの下部で年更新されたシナリオのサブセットについては、ワークスペースモジュールの「サーバ」セクションに正しいストレージが表示されます

## 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

証明書の自動化機能の強化

## 5.2 REST API

表示の修正-ライブスケールリング機能を再度開いたときに、ライブスケールリング機能で以前に入力した正しい値を表示します。これにより、パワーユーザーの役割（VDI ユーザー）のデフォルトのバックアップスケジュールを作成できます。

## CWMS 5.2 リリース：Thurs.、2019 年 6 月 6 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 6 月 6 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けの Cloud Workspace デスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

プラットフォーム通知用の複数の E メール処理の改善ワークロードのスケジューリングがサーバをオフにしないシナリオのサブセットのバグ修正 Azure Backup からサーバをリストアしないシナリオのサブセットのためのバグ修正適切なストレージタイプとをリストアしませんでしたデフォルトのストレージタイプ

### 5.2 CWA のセットアップ

CWA セットアッププロセス中のセキュリティ強化の継続サブネットとゲートウェイ設定の自動処理の改善登録プロセス中のユーザアカウント処理の舞台裏プロセスの改善には、ユーザが CWA セットアッププロセスに 1 時間以上残っている場合にトークンを更新するプロセスが含まれています

## CWMS 5.2 リリース：Thurs.、2019 年 5 月 23 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 5 月 23 日（木）午後 10 時から 23 時（東部標準時）：エンドユーザ向けの Cloud Workspace デスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

ワークスペースモジュールの [AVD] タブの改善されたリンク Data Center モジュールからワークスペースへのリンクをクリックしても、プライマリ管理者の連絡先情報を更新するとそのワークスペースバグ修正が削除されるシナリオのワークスペースバグ修正に移動しない場合 プライマリ管理者として指定します

## CWMS 5.2 リリース：Thurs.、2019 年 5 月 9 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 5 月 9 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままとなります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

数百～数千台の VM を含む環境での拡張性の向上

## CWMS 5.2 リリース： Thurs.、 2019 年 4 月 25 日

コンポーネント： 5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 4 月 25 日（木）午後 10 時～午後 11 時（東部標準時）：エンドユーザ向けの Cloud Workspace デスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

インターフェイスの改善– Azure または GCP のサーバでバックアップが有効になっていない場合は、サーバの [ バックアップ ] セクションからサイズ列を削除します

### 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

リソースの変更後に RDP サーバや HTML5 ゲートウェイサーバのリソースを変更してもオンラインに戻らないシナリオに対するバグ修正

### 5.2 REST API

シナリオに関係なく、最初の MFA 設定の処理が改善されました

### 5.2 CWA のセットアップ

既存の CWMS アカウントのサポート。間接 CSP が正しくプロビジョニングし、既存パートナーのプロセスを簡素化 Azure Active Directory ドメインサービスの追加検証を行います。 Azure Active Directory ドメインサービスが選択されていても、すでに使用されている場合は、エラーが表示されます

## CWMS 5.2 リリース： Thurs.、 2019 年 4 月 11 日

コンポーネント： 5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 4 月 11 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けの Cloud Workspace デスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

Provisioning Collections のバグ修正–デスクトップアイコンが表示されないアプリケーションで Provisioning Collection を保存すると、CWMS のバグ修正でエラーが表示されなくなります。CWMS から停止したプラットフォームサーバを起動する問題を解決すると、パートナーが存在しないためエラーが表示されました コードが添付されました

### 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

vCloud 環境でのサーバの削除に関する安定性の強化– 1 つの vApp で複数の FMS が検出された場合、vApp を削除する代わりに VM を削除する方法ワイルドカード証明書をインストールしないオプションを追加する AzureAD のサーバリソースレポートでの TSD サーバのクローニングの改善–複数の IP アドレスを持つサーバの処理複数の IP アドレスを持つサーバのバグ修正のシナリオのリストの場合 Azure Classic のプレフィックスを使用して VM をクローニングしようとしたときに、AzureRM でのサーバのバックアップがレビュー用にロードされなかった（すべての新規および最近の導入で AzureRM を使用） Server 2008 R2 の Server Resource Report で DNS エラーのバグ修正が正しく報告されない原因 Server Resource Report for not sending the Company Resource report in the event that a VM deleted from the hypervisor （ but not from AD ） および CWMS がハイパーバイザー自体で Azure バックアップを検出できない（ AzureRM 環境でのみ）

## 5.2 CWA のセットアップ

プロビジョニング対象として選択したリージョンで Azure Active Directory ドメインサービスが使用可能であることを検証する方法の追加一部のシナリオで DNS タイムアウトの問題を解決するための追加チェックを追加 CMGR1 導入のターゲットとして 2 秒を削除します。これは、導入プロセスの速度が低下しているためです

## CWMS 5.2 リリース：Thurs.、2019 年 3 月 28 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 3 月 28 日（木）午後 10 時から 23 時（東部標準時）：エンドユーザ向けの Cloud Workspace デスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

CWMS インターフェイスに Azure Virtual Desktop セクションを追加すると、CWMS 管理者は、カスタム App Catalog でアプリケーションを更新するときに、[設定]→[ロゴ][外部 ID の追加要件]の下に会社のロゴを設定できなくなります

### 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

Azure 向けクラウドワークスペース（CWA）の導入プロセスのさらなる合理化と改善 Azure RM 環境でプレミアムストレージを使用して VM を作成する必要がなくなり、アプリケーション使用状況追跡レポートで使用情况データが収集されないシナリオのサブセットで問題が解決されます HTML5 ポータルサーバで証明書を更新するとエラーが発生する問題は、HTML5 ポータルサーバライセンスのバグ修正でパスワード有効期限通知が更新され、Azure Active Directory ドメインサービスの使用時にパスワードが更新されませんパスワード有効期限通知がログファイルを書き込む場所を調整しました

### 5.2 REST API

データセンターモジュールでプラットフォームサーバ（顧客サーバではない）を起動 / 停止するためのバグ修正

## 5.2 CWA のセットアップ

導入時の FTP ロール設定の改善メカニズムが改善され、管理者が CWA セットアッププロセスにアクセスするたびに最新リリースを確認できるようになりました。導入時のバグ修正時に、導入時にタイムアウトになる要素の処理が改善されました。これは、導入時に誤って Azure AD を使用するようタグ付けられたシナリオ

## CWMS 5.2 マイナーリリース：Thurs、2019 年 3 月 14 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 3 月 14 日（木）午後 10 時から 23 時（東部標準時）：エンドユーザ向けの Cloud Workspace デスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

「アプリケーション監視」機能の名前を「アプリケーション使用状況追跡」に変更スクリプト化イベントの検索を更新しても、選択した開始日または終了日を再使用しない修正を適用デフォルトファイル監査を現在の日付の 1 日前に設定した日付フィルタで開始します。バックアップをサーバにリストアするときに意図したとおり機能していなかった場合に、Azure の Integrated Backups にバグ修正を返したデータ量を合理化する

ことで、アプリケーションサービスに属するクライアントを更新するときに、アプリケーションエラープロンプトが解決します

## 5.2 REST API

Azure Safeguard – Azure AD ユーザーを追加する際に、アカウントにメールアドレスがまだ追加されていないことを確認します。バグ修正-クライアントのアプリケーションを追加し、同時にグループを作成する場合、サーバーが再起動された後も確実に適用されることを保証する RDSH サーバーへのアクセスを無効にするときに、グループにアプリケーションを追加するときのシナリオのサブセットに対する一般的な改善 CWA ワークフロー自動化バグ修正の一般的な改善 そのグループの他のユーザー

## 5.2 CWA のセットアップ

デグレードされたレガシー MobileDrive サービスの導入プロセス中にサブスクリプションのリストの更新オプションを追加します。このリストには、Azure の自動保護機能とチェック機能が追加されています

## CWMS 5.2 マイナーリリース：Thurs.、2019 年 2 月 28 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 2 月 28 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けの Cloud Workspace デスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

CWMS インターフェイスでユーザの [VDI ユーザ] チェックボックスをオフにしたときの分かりやすさと確認メッセージ（VDI ユーザのサーバを削除）、およびタイムスタンプ処理に対するサーババックエンドの改善を削除しない場合の処理方法を改善しました

## 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

Azure Domain Services のライセンスサーバ名の設定を更新しました。プロセスの改善により、Cloud Workspace にログインした後でユーザが自分のパスワードを変更できるようになりました。まれな設定が有効になっている場合は、ネイティブの 2FA の CloudJumper イメージバグ修正を反映するように、ネイティブの 2FA が更新されました

## 5.2 CWA のセットアップ

CWA セットアップウィザードのその他のヘルプ/サポートコンテンツ CWA セットアップウィザードに契約条件と価格を追加 CWA セットアップウィザードの機能強化により、サブスクリプションのクォータおよび権限を検出するメカニズムが改善されました。Azure Active Directory ドメインサービスベースの展開の展開を、ストレージアカウント名形式のバグフィックスを FTP サーバ用に舞台裏で改善しました シナリオのサブセット内の設定

## CWMS 5.2 マイナーリリース：Thurs.、2019 年 2 月 14 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 2 月 14 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けの Cloud Workspace デスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

ユーザー管理アクションのパフォーマンスの向上データセンタータスク履歴のグループに変更を要求したユーザーを表示するための追加ログ機能が有効になっているアプリケーションが一部のシナリオで表示されていなかった場合は、標準 App Catalog の問題が解決動的で問題が解決されます 同じ名前の 2 つのアプリケーションが CWMS 5.1 インターフェイスから SDDC 作成ウィザードを削除する \* 5.1 にある SDDC を実行していて、新しい SDDC をプロビジョニングする場合、エラーが表示されるプロビジョニング CWMS 5.2 へのアップグレードをスケジュールするには、[support@cloudjumper.com](mailto:support@cloudjumper.com) に連絡してください。CWMS の API ユーザ作成画面でスペルエラーを修正してください

## 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

vCloud ベースの SDDC では、vCloud ベースの SDDC で接続が期限切れになった場合にハイパーバイザーに再ログインします。CloudJumper の管理アクセスの制限が改善され、サーバのブートを待機するときにデフォルトのタイムアウトが長くなります

## 5.2 REST API

CWMS の 5.1 インターフェイスを使用して新しい SDDC をプロビジョニングすると、「CWMS の v5.2 を使用している場合にのみ、新しいデータセンターの作成がサポートされます」というメッセージが表示されます。

## 5.2 CWA のセットアップ

自動エラー処理が改善されました

## CWMS 5.2 マイナーリリース：Thurs、2019 年 1 月 31 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 1 月 31 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けの Cloud Workspace デスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままになります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

Cloud Workspace クライアントの接続情報を Cloud Workspace クライアントの概要セクションに追加 Azure AD テナント ID を入力できる CWMS アカウント設定に編集可能フィールドを追加 Azure AD テナント ID を入力できる最新バージョンの Microsoft Standard Storage を新しい Azure 環境で使用 Azure 統合の向上、Azure 環境で統合バックアップを保持する必要があるアプリケーションサービスの動的プロビジョニングの処理を 1 日以上向上アプリケーションサービスの展開の動的プロビジョニングでは、アプリケーションがユーザーにプロビジョニングされていることを示すサーバーモジュールのセクションに、サーバーストレージがインベントリされる日付を追加します ユーザーが VDI ユーザーの場合、ユーザーのステータスはまだ保留中のクラウドワークスペースです。サーバーが VDI ユーザーの場合は、ユーザーページに VDI サーバーを表示します。ユーザ名に関連付けられた未完了のサービスボードタスクがある場合に、サーバーページにユーザを表示すると、その VM へのリモートアクセスが CWMS から失敗する特定のシナリオで、問題を解決します

## 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

ユーザーが 1 日中ログインするときのライブスケーリングの処理が改善されました今後の Wake on Demand の機能強化のための自動化の前提条件追加今後のワークロードスケジュールの改善のための自動化の前提条件問題は、VDI サーバー用の Windows 10 を使用して Azure Active のリモートレジストリサービスを適切に有効にできなかった場合に解決 ディレクトリドメインサービスの展開では、問題サーバで Windows 10 を使用するが、Azure Active Directory ドメインサービスの展開でローカルリモートデスクトップユーザグループの



セキュリティグループを適切に設定していなかった場合、強制ではなく有効にしても動作が実行されないように PCI 準拠設定を変更します 既定の構成設定では、ワークロードのスケジューリングで問題が解決されるため、ユーザーが Wake on Demand を有効にしてログアウトすると、サーバーの電源がオフになるようにスケジューリングされている場合にサーバーの電源を切ることができます。ProfitBricks パブリッククラウドでサーバーをクローニングするときにバグを修正するクローニングサーバーをチェックするバグ VDI ユーザシナリオでサーバ名へのサーバプレフィックスが重複しない有効なプロビジョニングコレクションを使用していないキャッシュされた顧客コードに対するチェックインレポートを夜間に追加する VM がハイパーバイザーにない場合、および CWAgent に更新解決問題が必要な場合の例外処理の改善 パスワード失効通知を使用してパスワードをリセットし、パスワード履歴を正しく適用する

## CWA 設定

SMTP 設定を自動的に構成するオプションを実装する場所リストの検証オプションを追加して、サブスクリプションに十分なクォータがあるかどうか、および選択した Azure リージョンに追加された機能で VM を作成するための十分な権限があるかどうかをチェックし、の最後に管理者権限を持つ不要な CloudWorkspace や他のサービスアカウントを削除 Azure のプロビジョニングプロセスは、手動での DNS 証明書のアップロードが検証されたことをユーザーに通知します。特定のシナリオでは、ThinPrint のインストールが意図したとおりにインストールされない問題が解決されました

## CWMS 5.2 マイナーリリース：Thurs.、2019 年 1 月 17 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2019 年 1 月 17 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスが中断されないままとなります。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

ワークロードスケジューリングインターフェイスでは、最初の列に概要が表示され、「Scheduling」の名前を「Custom Scheduling」バグフィックスに変更して、Azure 展開のプラットフォームサーバのバックアップを表示します。バグフィックスは、組織がそうでないアプリケーションサービスのエンドユーザの自己管理のシナリオに適用されます クラウドワークスペースサービスを設定します

### 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

PCI v3 準拠のセキュリティ強化のサポートを追加：新しい CWMS の導入では、ローカル管理者とCWAgent プロセスを実行するドメイン管理者。AzureRM 環境での Windows Server 2019 のサポート \* 注：Microsoft は、このバージョンでは Microsoft Office をサポートしていませんが、Wake on Demand ユーザーの処理は改善されています。組織が VM の電源をオフにする予定で、Wake on Demand を使用しているユーザーは、VM のクローン作成時に組織の仮想マシンの安定性向上を停止しないでください。クローン VM から作成された新しく作成された仮想マシンから、コネクションブローカーなどの役割を削除します。ThinPrint ライセンスサーバの役割をインストールするためのプロセスの改善 AzureRM テンプレートの処理を改善-実行されているハードウェアに基づいて、Azure で VM に使用可能なすべてのテンプレートを返却します。テナントの Azure リージョンで使用可能なテンプレートだけでなく、vSphere 展開の自動テストを改善したには、の特定のシナリオでのクローンサーバのバグ修正のシナリオの限定されたサブセットにある「ThinPrint ライセンスサーバが Live Scaling のバグ修正」がインストールされているかどうかを確認するための夜間電子メールレポートが含まれます vCloud の導入事例 AzureRM の導入における VM 名プレフィックスのバグ修正 Google Cloud Platform でカスタムマシンサイズを使用する際のレポートエラー修正バグ ThinPrint 機能が有効なレポートユーザのバグ修正 AzureRM で使用可能なテンプレートのリストから Windows の中国語版を除外

## CWA 設定

最低限必要な文字数を満たすパスワードが受け入れられないシナリオを修正する CSP アップデートのテナン

ト選択プロセス中に、ID 列をカスタマードメインに変更し、クレジットカードの入力を合理化するサインアッププロセスに進みます

## **CWMS 5.2 マイナーリリース：Thurs、2018 年 12 月 20 日**

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2018 年 12 月 20 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### **5.2 Cloud Workspace のセットアップ**

単一サーバの導入時に FTP DNS 登録の機能を追加し、自動 SSL を選択した場合に Azure AD 情報を入力するプロセスを自動化しました。（TenantID、ClientID、Key）をバックエンドテーブルにインポート自動インストールプロセスでは、10 ではなく ThinPrint License Server 11 がインストールされるようになりました

### **5.2 CWA のセットアップ**

登録プロセスが完了したら、管理者をサインインページにリダイレクトした問題を修正します

## **CWMS 5.2 マイナーリリース：Thurs、2018 年 12 月 6 日**

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2018 年 12 月 6 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### **5.2 Cloud Workspace ツールとサービス**

Win10 OS を使用したサーバの作成のサポートが向上ハイパーバイザーから VM をロードする際の速度が向上 Azure でのサーバの作成時に使用できる正しいストレージタイプを返す日常レポートのログをコントロールプレーンのバックエンドに追加する一時ドライブが Azure で自動的に拡張されるシナリオを回避します Azure Active Directory ドメインサービスを使用している場合、複数の MGR サーバが設定されている場合、GCP Bug fix for not automatically expanding a drive in GCP Bug fix for deployment automation when using Azure Active Directory Domain Services if multiple MGR servers are configured、メモパブリッククラウド（Azure、GCP）の自動テスト用のナイトリーレポートバグ修正 VMware 環境でのバックアップバグ修正 HyperV 導入を介して作成された新しい VM のディスクスペースを特定するための修正 AD ルート OU が設定されていないハイパーバイザーをベースにしてサーバをクローニングする際のサーバデータ収集用のバグ修正

### **5.2 REST API**

パブリッククラウド配置でマシンシリーズのサポートを有効にすると、SDDC で追加された DataCollectedDateUTC のデフォルトのリソース割り当てを無効にして、サーバのストレージの詳細を表示リソースの値を計算する機能を追加する詳細なユーザ接続ステータスを取得するための新しいメソッドを追加 CWMS でエラーを表示します 管理者権限を持つユーザを削除すると、データを有効にしたアプリケーションサービスのドライブマッピングを使用した固定問題が表示されない問題 CWA 経由でインポートされたクライアントまたはユーザを更新する固定問題新しいユーザが作成され、アプリケーションが割り当てられたときに CWMS 経由でクライアントまたはユーザを更新する [すべてのユーザー] グループでは、新しいユーザーはアプリケーションショートカットを受け取りません。

## **CWMS 5.2 マイナーリリース：Thurs、2018 年 11 月 1 日**

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2018 年 11 月 1 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービス

スへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

CRA 展開での特定の使用例に対する統合バックアップバグ修正バグ修正

## 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

複数サイトの Active Directory トポロジのサーバの作成時に Azure ARM 環境で使用可能なストレージタイプを返す機能を有効にするマルチサイトの Active Directory トポロジのサポート問題 with TestVDCTools when using Azure Active Directory Domain Service Bug fix for nightly email reports when AD root OU is blank

## 5.2 REST API

Azure Active Directory ドメインサービスのロック解除をサポートします。注：レプリケーションにより、最大 20 分程度の遅延が生じる場合があります。

## CWMS 5.2 マイナーリリース：Thurs、2018 年 10 月 18 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2018 年 10 月 18 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

データセンターウィザードで、ワイルドカード証明書の検証の有効化バックグラウンド改善とバグ修正アプリケーションテーブルでの検索機能の追加アプリケーションテーブルでのソートの向上データセンタープロビジョニングプロセスでの DNS 登録の完了の詳細データの追加動的 API コール応答にすべてのサブパートナーユーザとグループが含まれます アプリサービス特定のインスタンスでテナントの移行モードが維持されないというバグを修正する追加電源オンサーバーを追加 サーバあたりの共有ユーザ数とサーバあたりの最大共有ユーザ数のライブスケーリングの詳細新しいデータセンターウィザードを使用したプロビジョニング時に、ワイルドカード証明書テストに DNS 検証を追加します

## 5.2 Cloud Workspace ツールとサービス

オプションを有効にして、VM シリーズごとにグループ化されたすべての VM サイズを返すアプリケーションサービスユーザの計算時にハイパーバイザーで使用可能なすべての VM サイズを返す CWMGR1 の自動リソース更新の Enable オプションにワイルドカード証明書ステータス DataCenterResources Report 将来の DNS 拡張バグ修正を有効にする-GCP 展開での自動ドライブ拡張の修正

## 5.2 REST API

クライアント / ユーザーをリストする際のパフォーマンスの向上新しいライブスケーリング機能のサポート-ExtraPoweredOnServers、SharedUsersPerServer、MaxSharedUsersPerServer API の構成では、すべてのパートナークライアントのユーザーアクティビティデータを取得するための新しいプラットフォーム展開の作成時にワイルドカード証明書ドメインを検証する機能がサポートされるようになりました

Known 問題：Azure ARM 展開内のリソースプールのサイジングに「Active Users」または「User Count」の動的割り当て方法を使用すると、「Computed Resource per Server」の概要で、正しい標準 D シリーズタイプではなく、シリーズタイプとして「Machine Size」が誤って表示されます。

## CWMS 5.2 マイナーリリース：Thurs、2018 年 9 月 27 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、対象期間：2018 年 9 月 27 日（木）午後 10 時～午後 11 時（東部標準時）：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

コレクション VM をキャッシュにプロビジョニングする際の表示を簡素化 App Services を管理するときに、表示ひれを修正します

### 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

エンドユーザ MFA 更新 API が最新の Azure RM 更新テストと連携して、最新の API を使用するためのあいまいなユースケースのバグ修正パワーユーザ用語を VDI ユーザ更新電子メールレポートに置き換えることで、サーバの CPU と RAM を追加することができます アドレスレポートを更新します。  
[dcnotifications@independenceit.com](mailto:dcnotifications@independenceit.com) メッセージではなく、[dcnotifications@cloudjumper.com](mailto:dcnotifications@cloudjumper.com) から送信されるメッセージでは、サーバごとのユーザー定義と追加の VM をライブスケーリングによるパフォーマンスの向上により維持できます。停止された SDDC/展開セキュリティの強化を開始するときに、追加の VM を有効にします。複数の SDDC/展開を持つパートナーが 1 つから接続することを また、安定性の向上-自動化によってユーザ数を返すことができない場合は、リソースカウントのマイナーな外観の強化を変更しないでください

## CWMS 5.2 マイナーリリース：Thurs、2018 年 9 月 6 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2018 年 9 月 6 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

カスタムアプリカタログでサブパートナーを検索できるようになりましたデータセンターモジュールの画面を更新するとエラープロンプトが表示されるため、最大フォルダー名のサイズ制限が除去され、フォルダーを参照しやすくなり、VM のリソースカウントが確実になるというバグが修正されました は、指定された最小 CPU 値および RAM 値の再フレーズ Power User Terminology to VDI User Data Center Creation ウィザードでのサーバー名表示の改善に成功したにもかかわらず、一般的なエラーが表示されるというエラーを修正しました。アカウントの有効期限が保存された有効期限を表示しません を選択します

### 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

電子メールを選択したユーザーがコードを受信できない場合がある問題のバグを修正ユーザー数リソース割り当てタイプに CPU と RAM を追加入力できるようにするオートメーションエンジンがすべての種類のマシンに電力を供給しなかったというバグを修正しました自動化エンジンが、時々原因を実行するタイミングを修正しました エラーアウトするためのサーバのクローニング FTP サーバでワイルドカード証明書を手動でインストールしたときに、ワイルドカード証明書の更新後に古い証明書をパージするプロセスが追加されました。問題は、Data Enabled Application Services を使用している場合、X: ドライブがエンドユーザに常にマッピングされるとは限りません。

## CWMS 5.2 General Availability Release：Thurs、2018 年 8 月 10 日

コンポーネント：5.2 Cloud Workspace Management Suite、2018 年 8 月 10 日（木）午後 10 時（東部標準時）：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセ

スは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

## 5.2 Cloud Workspace Management Suite の略

Web インターフェイスコンポーネントをリリースして、上記の概要で説明した機能を有効にします

## 5.2 Cloud Workspace のツールとサービス

バックエンドツールをリリースして、上記の概要にある機能を有効にします

## 5.2 REST API

Release API to production to enable the features found in the overview above

# Cloud Workspace Suite –バージョン 5.1



今後、CWMS の v5.1 には繰り返しリリースはありません。すべてのリリースはホットフィックスと見なされます。

## CWMS 5.1 マイナーリリース：2018 年 10 月 18 日（木）

コンポーネント：5.1 Cloud Workspace Management Suite、2018 年 10 月 18 日（木）午後 10 時～午後 11 時の東部への影響：エンドユーザ向けの Cloud Workspace デスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### Workspace Management Suite の略

- アプリケーションテーブルに検索機能を追加します
- アプリケーションテーブルでの並べ替えが向上しました

## CWMS 5.1 マイナーリリース：Thurs.、2018 年 9 月 6 日

コンポーネント：5.1 Cloud Workspace Management Suite、2018 年 9 月 6 日（木）午後 10 時から午後 11 時（東部標準時）：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。Cloud Workspace Management Suite へのアクセスは引き続き可能です。

### 5.1 Cloud Workspace Management Suite の略

- カスタムアプリケーションカタログでサブパートナーを検索する機能が追加されました
- Data Center モジュールの画面を更新するとエラープロンプトが表示されるというバグが修正されました
- 最大フォルダ名サイズの制限を解除し、フォルダを簡単に参照できるようにします
- VM のリソース数が、指定された最小 CPU 値および RAM 値を下回ることがないようにします

## 5.1 Cloud Workspace のツールとサービス

- 電子メールを選択したユーザーがコードを受信できないことがある MFA のバグを修正しました
- User Count リソース割り当てタイプに追加の CPU および RAM を入力できるようにします
- Server Load Allocation for Server のバグを修正しました。必要なサーバ数がオフになっている場合があります
- サーバの自動リブート時にセーフガードを追加- CwVmAutomationService がビジー状態の場合は、20 分後に再試行します
- CWMGR1 でのワイルドカード証明書インストールの処理が改善されました
- データセンターリソースレポート内の固定データ
- RAM リソースの更新の処理が改善されました
- 使用可能なハードドライブリソースの計算が改善されました
- ProfitBricks の API v4 をサポートし、CPU ファミリの設定を可能にします
- プロビジョニングコレクションの作成時に使用される ProfitBricks で古い一時テンプレートの削除を修正
- ProfitBricks のハイパーバイザーが VM を作成するのを待機するときのタイムアウトが長くなりました
- VdcTools の新しいバージョンをインストールする場合、自動化をより早く実行できるように、処理中にすぐに VdcToolsVersionRunningAtVdc を更新します
- RDP ゲートウェイサーバにワイルドカード証明書をインストールするときに表面化するバグを修正しました
- FTP サーバに以前手動でワイルドカード証明書をインストールすることを自動化します
- パスワードの有効期限が通知されず、ユーザにパスワードの更新を強制していないというバグが修正されました
- ファイル監査プロセスが改善され、不明なユーザーエラーが表示される頻度が減少しました
- File Audit Report でフォルダが正しく除外されないというバグが修正されました
- コネクションブローカーの証明書の期限が切れている場合に、ワイルドカード証明書をインストールする機能が追加されました
- パスワード有効期限通知のショートカットがスタートアップフォルダから削除された場合に、パスワードの有効期限通知が表示されないというバグが修正されました (再インストールされます)。
- ユーザーがログインした場合に、ワイルドカード証明書により HTML5 ポータルサーバーの更新が遅延しないというバグが修正されました
- ワイルドカード証明書で、HTML5 ポータルサーバを最新の状態に更新する必要があるというバグが修正されました
- コネクションブローカーサーバにワイルドカード証明書をインストールすると、バグが修正されました
- ローカル VM アカウントが削除されているクローニング問題を修正しました
- クローニングサーバでテナントが移行モードになっている問題を修正
- vCloud での VM のクローニング中に、ハイパーバイザーが VM の作成に予想より長い時間を要したエラーを修正しました
- AzureRM で VM を削除すると、関連する管理対象ディスクも常に削除されるというバグを修正しました
- 2 つのビルド操作が重複しないように、問題が AzureRM で VM を作成するまれなタイミングを修正しま

した

- AzureRM のマシンサイズとタイプのリストを更新
- 導入時にハイパーバイザーで GCP のサブネットを設定する際にエラーが修正されました
- サーバがビジー状態のときにデータが書き込まれないようにするタイムアウトを削除することにより、監視データの保存エラーが修正されました
- 各サーバに個別にタイムゾーンを設定できるようにする機能、またはプラットフォームの自動化によって制御されない機能を追加しました
- セカンダリサイトで VM を作成するとプライマリサイトから静的 IP アドレスが返されるというバグが修正されました
- ユーザログインレポートのユーザ名のキャプチャでエラーが修正されました
- 古い監視データを削除できなかったバグを修正し、呼び出しを非同期にしてタイムアウトしないようにしました
- ワイルドカード証明書をすべてのインフラサーバに自動的にインストールします

## **CWMS 5.1 マイナーリリース：Thurs、2018 年 7 月 12 日**

コンポーネント：5.1 CWMS ツールおよびサービス：2018 年 7 月 12 日（木）午後 10 時 30 分東部への影響：エンドユーザ向けの Cloud Workspace デスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。

### **5.1 CWMS Web アプリケーション**

- グローバルアプリケーションカタログ設定の永続性に関する問題を修正します

## **CWMS 5.1 マイナーリリース：Thurs、2018 年 5 月 17 日**

コンポーネント：5.1 CWMS ツールおよびサービス 2018 年 5 月 17 日（木）午後 10 時 11 分（EST Impact）：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップおよびアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。

### **5.1 CWMS Web アプリケーション**

- アプリケーションサービスグループのユーザの概要に関する問題を修正します
- データセンターウィザードで、ユーザ名とパスワードが事前に入力された状態で問題を修正します
- データセンターウィザードで、ローカルの VM 管理者およびレベル 3 の技術者のユーザ名の検証を追加します
- セッション処理が改善され、セッションタイムアウト後のユーザの自動ログアウトも可能になりました
- プライマリ管理者が検出できなかった場合は、管理者を削除するときに問題を修正します
- [データセンター] → [プロファイルサーバー] のプレースホルダーを [プロファイル名の入力] から [プロファイル名の入力] に変更し、[ラベル] を [プロファイル名] から [サーバー名] に変更します
- AD 管理者がクラウドワークスペース以外のユーザーに対して機能しないように修正しました
- 非クラウドワークスペースの顧客に新しいユーザー / グループを追加できないようにする JavaScript エラーを修正しました

- マスターパートナーがサブパートナーの Active Directory ユーザー管理者を作成できるようにします
- サブパートナーのプライマリ管理者のパスワードリセットを引き起こすバグを修正し、エラーアウトします

## **CWS 5.1 マイナーリリース： 2 月、水2018 年 2 月 21 日**

コンポーネント：5.1 CW ツールおよびサービス（水曜日、2 月2018 年 12 月 21 日午後 10 時から 11 時（EST）の影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。

### **5.1 CW Web アプリケーション**

- 問題の管理を管理者アクセスロールで修正しました

### **5.1 CW ツールおよびサービス**

- Workspace で「サービスなし」クライアントをアップグレードするときに、障害が発生したサーバーが自動的に削除されないようにする
- W2016 GPO の更新を処理し、W2016 VM の RDS セッションにログインしているユーザに通知のポップアップが表示されないようにします

### **5.1 REST API**

- 新しい属性を追加し（新しい属性を使用するように CWS の SPLA レポートを変更）、コアライセンスベースのアプリケーション（特に SQL）をより適切に処理できるようにする

## **CWS 5.1 マイナーリリース： 2 月、水7、 2018**

コンポーネント：5.1 CW ツールおよびサービス（水曜日、2 月2018 年 10 月 11 日午後 EST の影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されることはありません。

### **5.1 CW Web アプリケーション**

- なし

### **5.1 CW ツールおよびサービス**

- 修正 Windows \* 2016 での問題アプリロッカーの無効化（Windows \* 2016 問題 \* が新たに検出されたため）
- IP がクローン障害イベントに基づいて再割り当てされていない場合に、バグを修正します

### **5.1 REST API**

- Provisioning Collection でサーバを変更するときにストレージタイプを保存する問題を修正しました
- 2 台のターミナルサーバ（TS）を使用して Provisioning Collection を作成する場合、収集を検証するために TS サーバを 1 台だけ構築する必要があります



## CWS 5.1 マイナーリリース： 1 月、水曜日2018 年 3 月 31 日

コンポーネント：5.1 CW ツールおよびサービス ( 次の場合 ) : Wed.、 Jan2018 年 12 月 31 日午後 10 時から 11 時 ( EST ) の影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されることはありません。

### 5.1 CW Web アプリケーション

- トップレベル CWS モジュールのテーブルごとの行数を 10 から 20 に増やします
- ユーザーサポートのみの管理者がクライアントにアクセスできないように修正します

### 5.1 CW ツールおよびサービス

- テンプレートに .Net Framework v4.5.2 がインストールされていない場合に、サーバーの作成に失敗するというバグを修正しました
- Hyper-V で VM をクローニングするときに問題を修正

## CWS 5.1 マイナーリリース： 1 月、水曜日10、 2018

コンポーネント：5.1 CW ツールおよびサービス ( 次の場合 ) : Wed.、 Jan2018 年 10 月 10 日午後 10 時から 11 時 ( EST ) の影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。

### 5.1 CW ツールおよびサービス

CWS バージョン 5.1 の Tools and Services ( CW Automation Service、 VM Automation Service、 CWAgent サービスを含む ) が更新され、特定の RemoteApp アプリケーション配信シナリオで発生する許可エラーがなくなります。具体的には、サービスは次のように変更されます。

- セッションサーバの SSL ワイルドカード証明書の自動展開を、Remote Desktop ( RD ) Connection Broker サーバおよび Power User サーバにのみ展開するように変更します。ブローカー以外のセッションサーバでは、リモートデスクトップサービス ( RDS ) によって生成されたデフォルトの証明書が使用されます。
- SDDC で Active Directory の外部 DNS 前方参照ゾーンを変更して、クライアント共有セッションサーバの DNS レコードを 1 つだけ作成します。このレコードはクライアントの RDS ブローカーサーバー ( VM ) を指し、共有セッションサーバ間のロードバランシングを処理します。パワーユーザサーバには、引き続き別の DNS エントリがあります。

注：この問題は、複数の共有セッションサーバを使用するエンドクライアント設定のみに影響しましたが、この設定を使用して新しいクライアント設定および変更されたクライアント設定を展開します。

## CWS 5.1 マイナーリリース： 1 月、水曜日2018 年 3 月

コンポーネント： 5.1 CW Web App When : Wed.、 Jan2018 年 3 月 3 日午後 10 時 30 分 ( EST Impact ) : エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。

### 5.1 CW Web アプリケーション

- CWS のワークスペースモジュールで、会社コードによるソートを修正します

- 修正 Cloud Workspace ユーザー → パスワードの強制リセットに変更が反映されない（別のモジュールに移動してからユーザーに戻る場合）
- SDDC 自己展開ウィザード：ThinPrint のインストールを解除すると確認アラートモーダルを追加（ライセンスセクション）

## CWS 5.1 マイナーリリース：Tues.、12月2017年5月

コンポーネント：5.1 CW Web App When：Tues.、12/2017年5月10日から10時30分（EST Impact）：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません。

### 5.1 CW Web アプリケーション

- Internet Explorer（IE）11でCWS Admin MFAエラーを修正
- CWS グループを修正 → ローカルドライブアクセスが「見つかりません」を返します
- Data Center Self Deploy ウィザード：AzureRM（ARM）Azure Active Directory のサポートを追加します
- アプリケーションカタログ：サブスクリプションオプションが常に使用可能であることを確認し、伝播します
- CWS スクリプトイベントモジュール > スクリプトアクティビティ → アプリケーションの追加：間違ったアプリケーションアイコンパスを修正
- CWS v5.0 にリダイレクトする際にエラーを防止するために、管理アクセス要求の効率を向上します
- AppService の詳細を更新するときや AppService のアプリケーションライセンスを管理するときに発生するさまざまなエラーを修正します
- CWS ワークスペースモジュール > ワークスペースの追加ウィザード → appservices の修正グローバルコントロールプレーンに誤ったフォーマットが送信されています
- CWS ワークスペースモジュール > ワークスペースの追加ウィザード → 新規クライアント → 手順3、JavaScript エラーに対処するために更新グループを修正して更新が処理されていることを確認します

## CWS 5.1 マイナーリリース：Sat.、11月2017年11月

コンポーネント：5.1 CW Web App When：Sat.、Nov2017年11月11日（午後10時）午後11時（EST）の影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスが中断されることはありません。

### 5.1 CW Web アプリケーション

- 11月の午後10時（東部標準時）11、すべてのCWS 5.1 パートナーは、を使用する必要があります <https://it.hostwindow.net>。この URL は CWS 5.1（および CWS 5.0）をサポートするために改良されています。パートナーは、CWS 管理者および CWS 管理者アクセスを持つエンドユーザがこの変更を認識していることを確認する責任があります。

## CWS 5.1 マイナーリリース：10月2017年3月30日

コンポーネント：5.1 CW Web App および 5.1 CW ツールとサービス（次の場合）：月2017年10月30日から23日のESTへの影響：エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません

## 5.1 CW Web アプリケーション

- CWS Admin MFA : MFA の送信コードを入力してバグを修正すると MFA コードの再送信が防止される
- SDDC セルフデプロイウィザード : GCP の場合、ディセーブルにするのではなく、ローカル VM 名の管理者を持ってください
- SDDC 自己展開ウィザード : タイムゾーンのドロップダウン幅を拡大します
- スクリプトイベント : スクリプトアクティビティに引数フィールドを追加します
- スクリプトイベント : スクリプト化されたイベントスクリプトの実行時変数として %applicationname% を追加します

## 5.1 CW ツールおよびサービス

- エンドユーザの E メールアドレス : 既存問題のエンドユーザの E メールアドレスが DB に保存されていないことを修正しました
- エンドユーザーのログオンステータス : エンドユーザーのログイン UPN を取得する問題を修正します
- AzureRM のエンドユーザログオンステータス : Azure Managed Disks をサポートしています
- テンプレート : テンプレートが正しく削除されない場合にワークフローを修正します
- リソース : 問題を修正し、古いリソースプールを新しい割り当てタイプに変換
- File Audit Report : ユーザが不明となる原因となるバグを修正します
- Windows 2016 : エンドユーザワークスペースから PowerShell アイコンを削除する GPO が適切に適用されるように修正
- Change Resources/Resource Allocation Report : 修正エラーが正しく表示されない
- Data Center Resources レポート : 使用可能なハードドライブ容量または VM の見積もりを返すようにハイパーバイザーが設定されていない場合、レポートにエラーが表示されないようにします
- Infrastructure Server Monthly reboots : このサーバのリブートがビジー状態であるため、インフラサーバが CWMGR1 サーバと通信できなかったために、スケジュールどおりに毎月リブートできない場合のシナリオに対処してください

## 5.1 マイナーリリース : Tues.、10 月2017 年 3 月

コンポーネント : 5.1 CW Web App および 5.1 CW ツールとサービス ( 次の場合 ) : Tues...,Oct2017 年 3 月 23 日 ( 東部標準時 ) 午後 10 時から午後 11 時 ( 米国東部標準時 ) : エンドユーザ向けのクラウドワークスペースデスクトップとアプリケーションサービスへのアクセスは中断されません

## 5.1 CW Web アプリケーション

- appservices : 問題ブロックの修正 AppService アプリケーションの追加ライセンス機能
- Appservices : AppService アプリケーションで常に「新しいインスタンスを追加」機能を使用できるようにします
- リソースプールの用語 : 用語を更新しながら、変更がなくても常にリソースプール構成をサーバに適用可能-「アップデート」を「サーバに適用」に変更し、「編集」を「管理」に変更
- ワークロードのスケジュール : Edit モーダルが常に開いていることを確認します
- ワークロードスケジュール : 選択する時間を矢印で常に表示します

- スクリプトイベント：より詳細な時間選択を可能にします
- CWS レポート「管理者アクセス」：問題を修正することで、IP カラムにクライアント IP だけでなく複数の IP アドレスが表示されるようにしました

## 5.1 CW ツールおよびサービス

- File Audit Service：常に無効になりました
- 自動化サービスと新しい SSL ワイルドカード証明書（RDP 接続）：RDS ゲートウェイ上の更新された RDP 証明書を常にリフレッシュするためのコマンドの更新順序（つまり、キャッシュされない）

## CWS® 5.1 の初期リリースの概要

Cloud Workspace Suite 5.1 は、2017 年第 3 四半期からパブリックベータ版に移行しています。このリリースでは、CWS API と Admin Control インターフェイスの両方が更新されています。このリリースは、CWS 5.0（2016 年第 4 四半期リリース）のアップデートであり、バージョン 4.x エンティティとの「下位互換性」はありません。

2017 年第 4 四半期に正式にリリースされた後は、CWS 5.1 への移行に伴うアップグレード料金や導入コストは発生しません。アップグレードは、各パートナーと連携して CloudJumper によって完了し、既存のサービスは中断されません。CWS 5.1 は、以前のバージョンのすべての機能を引き続きサポートし、管理者とエンドユーザの両方のエクスペリエンスを向上させる新機能を拡張し、以前のリリースの Cloud Workspace Suite で導入された受賞歴のある自動化とオーケストレーションをさらに向上させます。

CWS 5.1 のアップグレードは、CWS 5.0 で導入された最新のアーキテクチャと REST API プラットフォームを拡張して活用することにより、最も高速で簡単なアップグレードです。CWS 5.1 は、CloudJumper のフレンドリーな環境への取り組みを継続し、外部の開発者が Cloud Workspace に基づいてサービスや製品を拡張できるようにしています。



CWS 4.x は 2017 年 12 月 31 日に正式にサポート終了となります。CWS 4.x プラットフォームに参加しているパートナーは、4.x 導入に関する直接サポートを受けなくなり、4.x の更新やバグ修正は提供されなくなります。

### 5.1 主な特長：

- Windows 2016 Server のサポート
- Microsoft Azure Resource Manager のフルスタックサポート
- Office 365 Single Authentication のサポート
- CWS ポータル管理者向けの MFA
- Provisioning Collection Management の改善
- 管理者が自動化とスクリプトを定義しました
- リソース・サイジング管理スキーム

### Windows 2016 Server のサポート

- サポートされているすべてのプラットフォームで Windows Server 2016 サーババージョンをサポートします。
- Windows 2016 Server は、共有 RDS セッションユーザーに「Windows 10」デスクトップエクスペリエ

ンスを提供し、グラフィック集約型アプリケーションの GPU 割り当てなどの構成オプションを可能にします。 \*

#### Microsoft Azure Resource Manager のフルスタックサポート

- Microsoft では、従来の暗号化キー / 代理アカウントユーザエンタイトルメントモデルから Azure Resource Manager モデルへの移行が必要です。
- Microsoft Azure Resource Manager は、ユーザが解決策内のリソースをグループとして操作できるようにするフレームワークです。
- 必要な認証属性は、Software Defined Data Center (SDDC) の導入時に 1 回収集され、再入力や再認証なしで他の Microsoft Azure アクティビティに再利用されます。

#### Office 365 の単一認証のサポート

- Microsoft Office 365 では、新しいコンピューターやデバイスで Office 生産性スイートを使用するたびに、エンドユーザが資格情報を入力する必要がある認証モデルを使用します。
- CWS 5.1 では、これらの資格情報をサーバファーム全体で管理して、エンドユーザが新しい Office 365 サブスクリプションを初めて使用したときにのみ認証を要求できるようにします。

#### プロビジョニング収集管理の改善

- 事前定義済みのワークロード用のハイパーバイザーテンプレートの設定と管理は、特に複数のハイパーバイザープラットフォームで作業する場合に混乱を招く可能性があります。
- CWS 5.1 は、既存のテンプレートまたはクラウドプロバイダの VM イメージに基づくサーバインスタンスの作成を含む自動ハイパーバイザー管理機能を導入します。CWS Web App からアプリケーションをインストールするために、作成したサーバに直接接続 / ログインします。設定済みのサーバインスタンスからの自動テンプレート作成 / Windows sysprep、アプリケーションパスの検証と CWS 内からのインストールを実行して、ハイパーバイザーやクラウドサービスダッシュボードに直接アクセスする必要を排除します。

#### CWS ポータル管理者向けの MFA

- CWS 5.1 には、CWS 管理者専用の組み込み多要素認証 (MFA) 解決策が含まれています
- パートナーはエンドユーザ向けに独自の MFA 解決策を実装できます。人気のあるオプションとしては、Duo、Auth-Anvil、Azure MF などがあります。CloudJumper は、2018 年第 1 四半期にエンドユーザ向けに独自の組み込み MFA をリリースする予定です

#### 管理者が定義した自動化

- CWS は、管理者が定義したタスク / スクリプトの実行の自動化により、サービスプロバイダの導入 / 管理の自動化を改善します。
- この機能強化により、CWS 5.1 は導入の大幅な高速化、管理の簡素化、オーバーヘッドコストの削減を実現します。
- CWS 管理者定義の自動化により、イベントに基づいたアプリケーションのインストールまたはアップグレードが可能になり、パートナーはこの方法を使用してアプリケーションの自動インストール / メンテナンスを開始できます。

- CWS 5.1 リソース機能は、3つのリソーススキームを追加することで、リソースを動的に拡張する機能を強化します
- 既存の Total Users スキーマが、さらに3つのリソースサイジングスキームによって拡張されました。つまり、Fixed、Active User、および Activity-based です
- 例：固定メソッドは、CPU と RAM の正確な仕様をサポートします。
- すべてのリソースサイジングスキームでは、即時 / 強制的な変更や夜間の自動リソースチェック / 変更が引き続き可能です。

## CWS – v5.0 リリースノート



CWS の v5.0 については、今後のリリースでは繰り返しリリースされません。すべてのリリースはホットフィックスと見なされます。

### 概要

CloudJumper は、2016 年第 4 四半期より、一般実装用の Cloud Workspace Suite 5.0 をリリースしました。このリリースでは、CWS API と Admin Control インターフェイスの両方が更新されています。リリースは大幅に変更され、バージョン 4.x エンティティとの「下位互換性」はありません。

バージョン 4.x は、すべてのパートナー Software Defined Data Center (SDDC) が 5.0 プラットフォームにアップグレードされるまで引き続きサポートされます。アップグレードは、各パートナーと連携して CloudJumper によって完了し、既存のサービスは中断されません。移行に伴うアップグレード料金や導入コストは発生しません。CWS 5 は、以前のバージョンのすべての機能を引き続きサポートし、管理者とエンドユーザの両方のエクスペリエンスを向上させる新機能を拡張し、以前のリリースの Cloud Workspace Suite で導入された受賞歴のある自動化とオーケストレーションをさらに向上させます。

CWS 5.0 では、CloudJumper はすべてのプラットフォーム API を REST API 形式に再書き込みし、以前の SOAP API を完全に廃止しました。このアップデートされたアーキテクチャにより、CloudJumper の機能がさらに強化され、外部の開発者は Cloud Workspace をベースにサービスと製品を拡張するための環境をさらに整備することができます。

### ハイライト

- UI/UX の書き換えを完了します
- Azure AD 統合
- Azure SDDC セルフサービスの導入
- アプリケーションサービス
- リソースのスケジューリング
- Live Server Scaling – クロスプラットフォーム
- 自動サーバークローニング – クロスプラットフォーム
- クライアントごとにドライブ共有をカスタマイズします

## 主な機能：

### Azure Active Directory（AD）統合

- SDDC をプライベートクラウド Active Directory として構築するか、Microsoft Azure-AD-as-a-Service を使用します
- CWS と Office365 を組み合わせます
- Azure ベースの SSO と MFA をサポート

### Azure SDDC セルフサービスの導入

- Azure との完全な統合
- 新しいデータセンターを迅速に導入
- クラウドワークスペースマネージド、アプリケーションサービス、プライベート Web アプリケーション、SharePoint など、あらゆるワークロードに対応するプライベートエンタープライズクラウドを Azure 内に導入できます

### アプリケーションサービス

- アプリケーションサイロを導入して、分離されたサービスビルディングブロックとして公開アプリケーションを実行します
- 「パブリック」アプリケーションサーバーから多くのカスタムエンティティに配信されるアプリケーション
- アプリケーションは、単一のアプリケーション専用サーバプールにインストールされます
- ユーザプロファイルとデータレイヤの要件から分離されたアプリケーション
- 拡張性に優れたアプリケーションサービスを構築
- 複数のアプリケーションサービスをユーザコレクションに統合できます
- CWS ライセンスの追跡と使用状況のレポート

### サーバのライブスケーリング-クロスプラットフォーム

- サーバ・リソース / アクティブ・サーバのインテリジェントな自動拡張
- ユーザー負荷の変化に合わせて、動的な増減でサーバリソースを厳密に管理します
- ワークロードの変化に応じてサーバリソースを自動的に増減

### サーバの自動クローン作成：クロスプラットフォーム

- 定義されたユーザー数が増加するまで、サーバの可用性が自動的に増加します
- 使用可能なリソースプールにサーバを追加します
- CWS Live Server Scaling 機能と組み合わせることで、完全に自動化された解決策を作成できます

### リソースのスケジューリング

- 顧客ごとにサービス時間をスケジュールします

- パブリッククラウドのコスト抑制
- 使用していない場合はシステムをシャットダウンし、事前に定義されたスケジュールで再アクティブ化します



## Copyright Information

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system- without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.